熊谷洸介 | 高杉の営業塾 | 2017年3月2日

マイストーリー

xoxoの法則

# 上げ

中学２年生の頃まではどう生きるか、なぜ生きるかを考えていなかった。

# 下げ

中学３年生の夏、進路やこの先の人生どう生きるのかを想像したときに、それが想像できなかった。唯一想像できたのが満員電車でつらそうな顔をしたサラリーマンだった。こうはなりたくないと思い、なぜ生きるのか、どう生きるのか、答えの出ない毎日の中で次第に学校に行かなくなっていった。

高校３年間、ゲームに費やした、１日１０時間以上、累計１万５千時間ゲームの世界で過ごした。

　世界累計１００万IDがプレイするゲームで１５００位だったことがある。

# 出会い

　高校卒業後、自活ということを考えたときにゲームばかりしてはだめだと思い、けれども引きこもり生活が長く家の外に出られない毎日。

　ある時心理学育成講師をしている人の無料講座があると聞き、行くことにした。

そこで出会った椎名雄一が、「仕事だと思うと辛いけど、やりたいことをやってると思うと楽しいよね」と言った。衝撃だった。仕事は辛いもので楽しい仕事など考えたこともなかった。

　自分もやりたいことをやって、それを仕事に結びつければいいのではないかとかんがえるようになった。

　バイトを初め、またボランティア団体で活動した。

# 気づき

ボランティア活動の中で、中高生もまた自分と同じような悩みを抱えているのだと知った。

なぜ生きづらいのか、なぜストレスを感じてしまうのか、どうすれば解消するのか、彼ら彼女らのために、何が出来るのかを考えた。

# 学び

自分の理想と現実のギャップを埋められないでいるのが根本的な理由なのではないかと思った。そして解決するためには考え方を変えてあげればいいのではないかと考えるようになった。

# 模索

心理学、教育学、コミュニケーションスキルに興味を持ち、一度体系的に学ぼうと思い大学に入学した。

# チャレンジ

# 最初はうまく行かなかった

# 諦めずにやり続けるできた